



Okosiyasu (Welcome) to energetic summer season of August and September in Kyoto! This paper features on Okazaki area, Kyoto and especially on Jinguichi-Syotengai (Jinguichi shopping area).

I would like to introduce several unique way to enjoy summer in Kyoto. Avoid spending long time under the sun in the morning and the afternoon! To avoid extreme heat, visit cafes and try out "Kakigouri (Japanese-style shaved

ice topped with flavored syrup)". In the evening, enjoy shopping or firework shows.

Summer is the most energetic, bright, and refreshing season in Kyoto! We hope you to visit various places, eat delicious food, enjoy unique experiences, and have wonderful time in this beautiful city. (Nakatsuji)



撮影 / 山下良太  
「般若」

最初のコラムということで緊張しています。第1回担当フジワラです。テーマは「残暑」なのですが、暑い日が続いていますね。蝉も元気に鳴いています。鈴虫が鳴くのはまだ先のようです。わたしは元々京都の人間ではないので、初めて京都で夏を過ごしたとき、想像をはるかに超えるジメジメ感に辟易してしまいました。恐るべし、夏の京都。堪え難き高湿度。

しかし、そんなジメジメした夏の京都には、それを打破する避暑スポットも多いですよ。水場、木陰、落ち着いたお寺など、想像するだけで涼しくなります。

岡崎地区には「琵琶湖疏水」という涼しげなスポットがあります。京都を舞台にした物語を書く小説家として知られる森見登美彦氏は、作中によく琵琶湖疏水を登場させています。わたしも彼の小説で琵琶湖疏水を知りました。フリー百科事典でおなじみWikipediaでは「琵琶湖の湖水を京都市へ流すために作られた水路（疏水）である。」とあまりにも簡単すぎる説明がなされている琵琶湖疏水ですが実用性だけでなく、観光資源としても要チェックです。特に、南禅寺境内にある水路閣は、京都のイメージとして定着していますね。しかしこの水路閣、建設当時は「古都のイメージを壊す」など反対する意見もあったみたいです。なんでもあの有名な福沢諭吉も反対派だったとか。現在の感覚で考えると、和風の木造建築と洋風の煉瓦の融合は、とても素敵な計画だと思ってしまうのですが…当時はそう簡単にはいかなかったみたいですね。

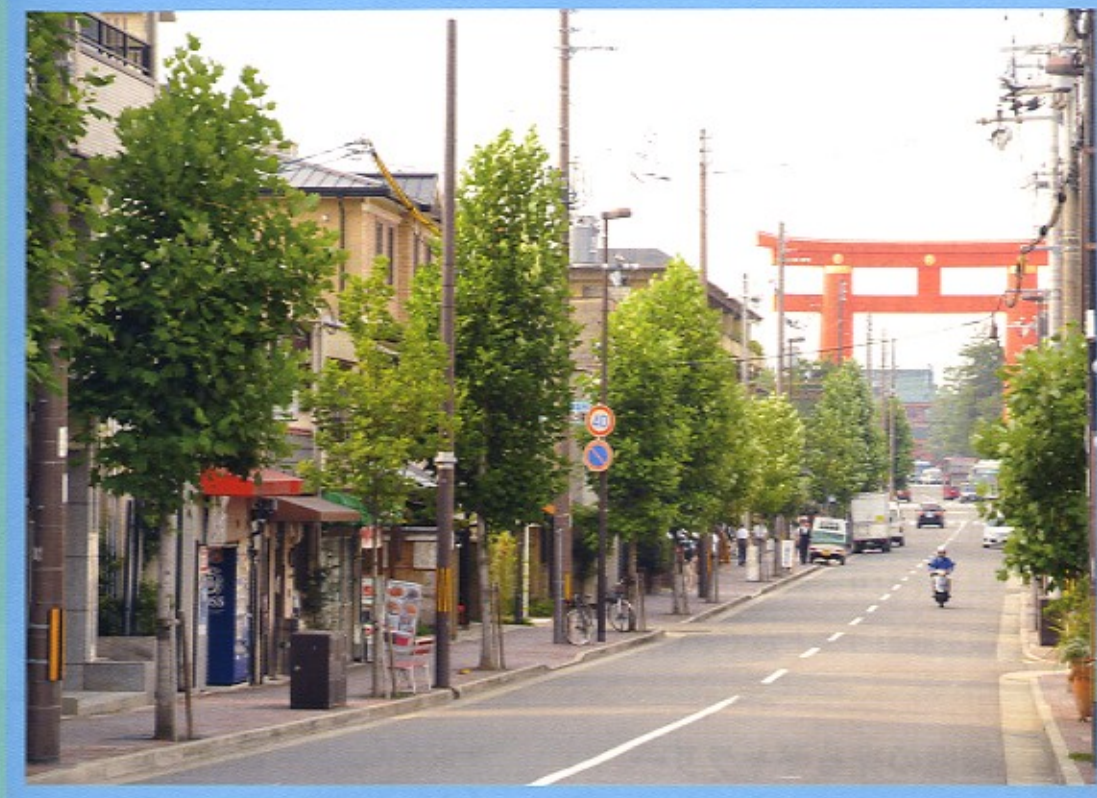
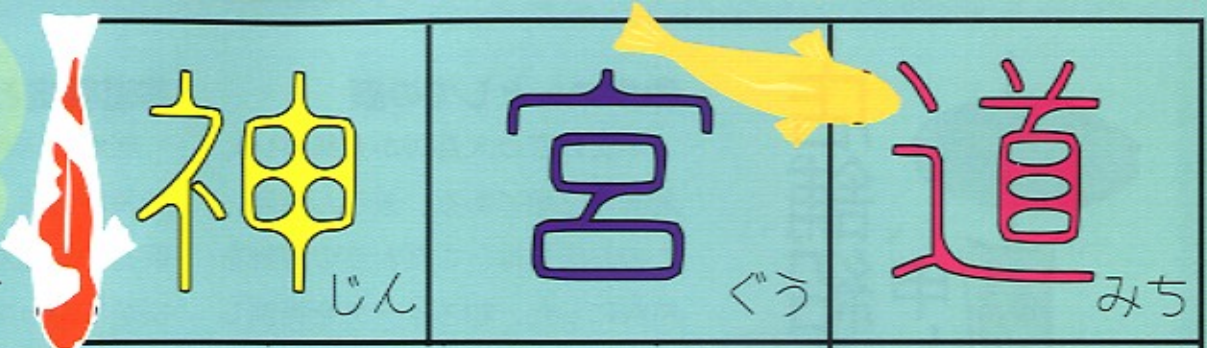
ただ単に風景を楽しむだけでなく、どんな人物がこの場所についてどんなことを考え、どんなことを感じたのか思いを馳せる。今年の残暑は暑さも忘れ、京都の今昔に歩み寄るような、そんな時間を過ごしてはいかがでしょうか。(フジワラ)

### 今月の一枚 八月・九月

毎月、立命館大学写真部のメンバーが岡崎地区にて撮影した一枚をお届けします。

ご意見はこちらまで [jingu@like-minded.jp](mailto:jingu@like-minded.jp)

8月9月創刊号



企画・発行：神宮道商店街組合  
編集：立命館大学 Rits Jins

### 神宮道商店街とは？

神宮道商店街とは平安神宮の大鳥居を望み、岡崎地域の南側に位置する南北に延びる商店街です。京都特有の住所の表し方で知られる「上ル下ル」を使った「神宮道上がる下がる」が愛称です。画廊、骨董・古美術店、飲食店、土産物店などが集まっており、10月には「粟田祭」や京都三大祭の一つである「時代祭」の行列で賑わいます。近辺には平安神宮や南禅寺、美術館や動物園など、観光施設が多くあります。綺麗な舗道は広くて歩きやすく、落ち着いた雰囲気の中で京都を満喫できる商店街です。

### Rits Jins について

お初にお目にかかります。私たち Rits Jins (りつじんず) は、神宮道商店街組合発行の「神宮道帖」を創るために集まった、学部も回生も違う9名の立命館大学生からなっています。これから神宮道帖の紙面で毎月、神宮道商店街の小さなほんやりから大きなほっこりまで紹介していきます。どうぞ、末永くお付き合いください。



